



明けましておめでとうございます



理事長 吉川 ひとみ

2026年は丙午（ひのえうま）の年、新しい時代を情熱、行動力、決断力をもって駆け抜けていきたいと思えます。

昨年は公益財団法人みずほ教育福祉財団の助成を得て「創立40周年記念誌」を発行することができました。40年も経つと会の当初を知っている方も少なく歴史をまとめるのは大変でしたが、改めてみのりの原点を再確認し現在の私たちの活動を記録にまとめることができました。この記念誌が今後みのりの活動の発展に役立つことを願っています。

昨年4月に念願のホームページを開設しました。早速配食についてのお問い合わせが入り、2回のお試しをお勧めし、その後利用会員につながりました。この開設の成果をととてもうれしく思っています。

また学生さんからの問い合わせ案件では、みのりの食事サービス事業や、介護支援ボランティア制度に関心があり、フィールドワークを受託しました。彼らは会食会やたまりばに参加し私たちの活動を実体験してくれました。

超高齢化社会で私たち支え合う会みのりが持続可能な活動を維持するために若い方たちの積極的な参加を期待しています。

コロナ禍以来の再開として全会員を対象に「アフタヌーンティーパーティー」と称し、お互い顔の見える楽しい団らんのひと時を催しました。皆に負担とならない、しかしながら手作り感あふれた親睦会になりました。

日頃の会食会運営においてもボランティアと利用者が無理なく楽しめる会を継続していくことに主眼を置き、人と人のつながりの大切さを考えていきます。

昨年はまたコメの価格高騰（1.5倍）に悩まされ、助成金を申請したり、地域で安く提供してくださる農家さんを頼ったりと、また多くの寄付などで応援いただきました。本当に感謝申し上げます。

「住み慣れた地域で食を通じた住民同士が共に支え合う地域社会づくり」のため今後も私たちとともに限らない情熱をもって一緒に参加し、ご協力いただけることをお願い申し上げます。

稲城市、社会福祉協議会様におかれましても変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

